

事務事業名	《H25新規》高尾集落地域資源活用事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2013- 999057				
	□ 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久				
			所属担当	文化財	担当者名	保阪太一				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	05	020	22
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業					
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	文化財保護法						
事業概要	高尾集落の文化財を調査・活用し、高尾の資源を顕在化させることで、歴史資源を後世へ継承できるシステム作りの契機付けとしての事業を行う。		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	地域住民や市民と共に高尾集落に潜在する資源や魅力を調査のうえ顕在化させ、清掃活動やワークショップなどが集まる事業を通して、自立して活動し続ける継続可能なコミュニティ=担い手を再形成するきっかけづくりを行う。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			報償費	456,000	役員費	4				
			需用費(消耗品)	274	委託費	168				
			需用費(燃料費)	5						
			需用費(食糧費)	67						
			需用費(印刷製本費)	350	計	456,868				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	26年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	集落内石造物分布調査・古道の清掃活動 ガイドツアー・ワークショップの開催・ガイドマップの作成	事業終了のためなし		名称	単位
				アツアー・ワークショップの実施数	回
				イ	
				ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	「高尾」に存在する文化資源を顕在化する活動(調査と清掃、ワークショップ)や、ガイドツアーなどへの参加者。		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				アツアー・ワークショップの参加数	人
				イ	
				ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	ワークショップなどの活動を通して集った人々の中から、事業自体に協力していただける仲間を繋ぐ。その仲間を中心に持続可能なコミュニティ(住民+α)=担い手を形成することを意図している。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア事業への協力者数	人
				イ	
				ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	文化財などの歴史資料資源や高尾集落そのものを将来に継承していくシステムとして、持続可能なコミュニティ(住民+α)=担い手が育成され、自主的に活動を継続する。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア事業への協力者数	人
				イ	
				ウ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			1,300				
		一般財源	千円			125				
		事業費計(A)	千円	0	0	1,425	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1				
		延べ業務時間	時間			80				
		人件費計(B)	千円	0	0	364	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	1,789	0	0	0	0
	活動指標	ア	回			6.0				
		イ								
		ウ								
	対象指標	ア	人			255.0				
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア	人			120.0				
		イ								
		ウ								
	上位成果指標	ア	人			120.0				
		イ								
		ウ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	以前より超過疎化の進む高尾集落の文化財に関する要望は多く、平成24年度より高尾地区の住民との地域資源の勉強会を進め、地域おこしの取り組みを開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	各事業を通して高尾集落への関心は高まり、高尾のサポーター的存在の人々が集まりだしている。実際にさまざまな取り組みが派生しており、無形民俗文化財の継承活動も復活したため、適切な継承活動がおこなわれるもの。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	この機会に高尾地区のことを知ることが出来たり様々な整備をすすめることができ、感謝の声は多数寄せられた。また、地元からはこのような取り組みが継続して出来ることを願う声も寄せられた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成25年度の単年度事業である。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	平成25年度の単年度事業である。

事務事業名	《H25新規》高尾集落地域資源活用事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------------	-----	-------	-----	------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市が推し進める榊山周辺の文化資源・歴史資源を再認識し活用する機会となっている。また、参加者の中から自主的な活動を担う者が生まれ始めている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 文化財の後継者育成のための初歩作業としてであり、公共性は妥当である。今後はそれぞれ担い手が自主的に活動していくことが望ましいが、3戸という超限界集落であることから必要がある時には適切な援助が必要と考えられる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 担い手を増やすための初歩的な取り組みであり、市民を主体とした自主活動として継続してゆく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市の事業は25年度で終了するので、今後の活動は、地域住民と市民ボランティアに期待する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域住民と市民ボランティアで、順調に高尾集落の活性化事業が実施出来るか不安である。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 不安はあるが、地域住民と市民ボランティアに、高尾集落の活性化事業の継続実施を依頼する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 市の事業は25年度で終了して、26年度以後は補助金も交付しないので事業費の削減になる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 担当職員の努力で、順調な業務執行が出来た。市の事業としては25年度の単年度で終了する。26年度以後は、地域住民と市民ボランティア主体で事業継続する予定なので職員人件費は削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 高尾集落を活性化して文化財の保護・保存・活用に繋げる事業で、地域住民と市民ボランティア中心の事業であり、公平公正と考える。市の事業としては、25年度の単年度事業である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高尾集落の文化財を調査・活用し、高尾の資源を顕在化させることで、歴史資源を後世へ継承できるシステム作りの契機付けとして清掃活動やワークショップなどが集う事業を通して、自立して活動し続ける継続可能な担い手を再形成するきっかけづくりが出来たと考える。 あくまでもきっかけづくりとしての事業が終了したもので、地域住民と市民ボランティアで、今後継続して高尾集落の活性化事業が継続出来るか不安も残る。引き続き適切なサポートが必要といえる。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 事業終了。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 事業終了。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					